

技能評価システム移転促進事業 (SESPP)

事業実施報告書【本邦研修】

担当講師	松本 祥孝（関西職業能力開発促進センター） 伊藤 進（株式会社きんでん） 小泉 孝史（株式会社関電工） 前田 洋介（株式会社 ミライト・ワン）
実施期間	2022 年 11 月 2 日（水）～ 11 日（金）
実施場所	幕張国際研修センター
研修	競技課題採点・評価方法セミナー（AMM）
実施職種	情報ネットワーク施工

2023 年 1 月

結果概要

1. 事業の概要

国内競技大会の実施に必要な課題（テストプロジェクト）、ガイドライン、評価計画等を開発するために必要な技能のノウハウを移転する。

2. 対象者数：受講者数 カンボジア 6 名
修了者数 カンボジア 6 名

3. 実施内容

現地において技能競技大会を実施・運営する人材を育成するセミナーである。技能競技大会の実施・運営方法、採点・評価方法に係る能力を付与することを目的とする。

日本人専門家によるデモンストレーション、模擬競技の実施に重点を置き、技能競技種目のレベルアップ、新しい競技種目への取り組みを目指す。

4. 日程

日時	指導内容
11月2日(水) 9:30~16:30	①オリエンテーション ②開講式、写真撮影 ③研修目的事業の狙い、アクションプラン作成方法について ④歓迎レセプション ⑤【講義】公共職業訓練の概要（厚生労働省 内野 智裕氏）
11月3日(木) 9:00~16:30	【講義】 ①技能検定と技能競技大会の概要（SESPP 事務局技術顧問 稲川 文夫氏） ②技能評価のための採点の原則と手法（SESPP 事務局技術顧問 稲川 文夫氏） ③カントリーペーパー発表、質疑応答
11月4日(金) 9:00~15:30	【視察】 ①企業内訓練施設等の視察（住友電気工業株式会社 横浜製作所） ②職業訓練施設の視察（関東職業能力開発促進センター）
11月5日(土) ～6日(日)	【視察】 終日：技能五輪全国大会（幕張メッセ）
11月7日(月) ～10日(木) 9:00~17:00	【技能大会セミナー】 2022年度の技能五輪全国大会で使用した、 ①課題作り方及び作成 ②課題の評価方法及び採点作業 (2組に分かれて)
11月11日(金) 9:00~17:00	【技能競技大会セミナー、アクションプランの作成】 ①前日の続き及び課題の撤去作業 ②国内競技大会実施に向けたアクションプラン作成 ③アクションプラン発表 ④総括・閉講式

5. 講評

<松本講師>

本研修では、日本の技能五輪全国大会の課題をアレンジして実施した。

昨年度2月に実施した課題と比べ難易度が格段と上がり、LAN施工・光ファイバー施工ともに19インチラック2台を使用した課題に取り組んだ。施工では、施工スピードと高い品質が求められる高度な技術力が必要となり、また課題の難化に伴い評価基準は複雑化したものとなった。

初めて取り組む課題・評価に取り組んだが、参加したカンボジアの指導員は熱心かつ積極的にチャレンジし、不明な点はすぐに質問をしたり仲間同士で議論したりして技術・評価法の習得に尽力していた。カンボジア国内競技大会で当該職種の設立を目指していると強く感じた。

<伊藤講師>

技能五輪全国大会の視察および実技指導より、受講者が真面目に取り組んでおり、成長が期待できる。

研修では、初めて触れるリボンファイバーを自室に持ち帰り練習するほどであり驚いた。

内容については、光ファイバーの基礎からメタルケーブルの基礎に値するが、今回の研修のみで基礎力が上がるのではなく、今後積み上げて基礎力の強化が必要になると感じた。技術力の強化として、施工するポイントなど施工する物の性質を知る必要があり、実技だけでなくテキストを使用して規格などを勉強する必要がある。

また、今回では服装などの指定も無かったため、比較的動きやすい恰好での受講であったが、実技をおこなうにあたり、作業服（長袖）で実習をおこなうべきだと思う。

<小泉講師>

前回開催のオンライン研修から8か月ほど経過したが、当時より格段に技能が向上しており驚いている。今回の研修でも特に慣れない作業に対しては、休憩時間を惜しんで練習に取り組み、自室へ持ち帰るなど習得意欲は非常に感じられた。また、言葉の壁は有るものの、教える/教わるの気持ちがあるからこそ、相互の意思疎通が取れるのだとも感じた。今後も継続して指導することにより、更なる技能向上が見込まれ、技能者輩出へ大きく貢献できると思うので引き続き行うとともに、光に関する機材調達を進め、現地で研修開催が出来るよう整備を希望する。

<前田講師>

研修期間中、全研修生が真剣に取り組んでいた。わからないことがあると、わかるまで質問する姿勢に感心した。手先の器用さは研修生によりバラつきがあったが、総じて日本人よりも器用で、頭の賢さが感じられた。また自分達の手で競技大会の実施を実現しようとしている姿勢を強く感じられた。

6. アンケート結果

<AMM>

◆受講者6名（回答者6名）

満足度 : 大変満足=6人

研修内容とテーマの整合性度 : とても思う=4人 そう思う=2人

継続度 : 是非とも継続すべき=6人

【この研修で最も有意義なプログラムは】

- ・技能実習実施と視察（2）
- ・技能競技の評価

- ・情報ネットワーク施工の実習実施と視察
- ・配線・組立と評価方法

【現在の仕事にどのように活用したいか】

- ・現在の市場ニーズや技術開発に応じてこの研修内容をカンボジアの生徒たちをしっかりと育成する。
- ・研修から得たものをカンボジアの教師同士で共有する。(2)
- ・生徒と関係者にトレーニングを行い、模擬試験の課題を作成する。
- ・スキルのグレードアップ
- ・国内技能競技大会の参加を目指し、生徒たちにトレーニングを行う。

【技能競技大会セミナーについて、何をもっと学びたかったか】

- ・普通旋盤・3D 図
- ・光ファイバーの詳細
- ・Wi-Fi と ネットワークコンフィギュレーション
- ・エレクトロニクス（電子工学）
- ・産業制御システム、配管、モバイルロボット、IoT
- ・産業制御システム、配管、モバイルロボット

【自国で情報ネットワーク施工の技能競技大会を進めるために、どのようなことが必要だと思うか】

- ・機材、工具、設備、会場、専門家
- ・技能実習指導員・能力がある生徒
- ・光ファイバーに関する機材・工具、設備、国内外の会社及び関連機関のサポート
- ・課題評価、機材・工具、部材、電気通信事業者との協業
- ・機材・工具が必要、もっと練習が必要
- ・機材・工具、設備、技能評価者

【改善するための提案】

- ・とても良いと思う。
- ・課題の作成時間がもっと欲しい。
- ・実習実施の機材・工具及び設備を増やして欲しい、そして各テーマを詳しく説明して欲しい。
- ・今回より研修期間をすこし長くして欲しい。

【意見・提案・感想】

- ・研修機会（ほかのテーマ）を増やし、カンボジアに貢献し活躍したい。
- ・ほかの研修テーマを受けたい。例えば産業用制御システム、配管、メカトロニクス。
- ・日本滞在中にもっと金銭的なサポートが欲しい。
- ・このセミナーを開催していただいたJTBに感謝している。(2)
- ・機会があれば、ほかの職種にも参加したい。



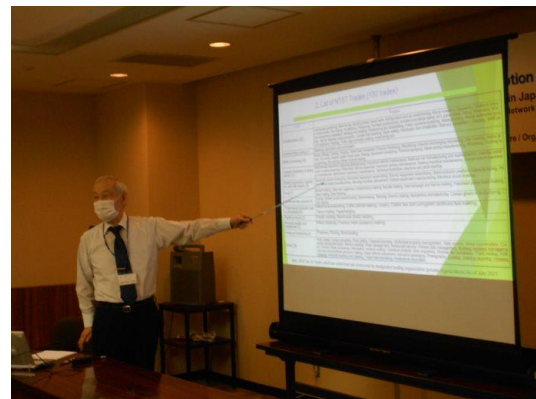
11月2日 開講式



11月2日 研修目的の狙い



11月2日 公共職業訓練



11月3日 技能検定と技能競技大会の概要



11月3日 カントリーペーパー



11月4日 住友電工横浜製作所



11月4日 ポリテクセンター関東



11月5日 技能五輪全国大会



11月8～10日 技能競技大会セミナー



11月11日 アクションプラン



11月11日 閉講式



11月11日 閉講式